

第6学年 学級活動(1) 学習指導略案

教科等	学級活動	議題	「二小恩返しプロジェクト」について決めよう	本時	全1時間扱いの1時間目
学級	6年3組	授業者		教室等	4階 6年3組教室

<本時の指導>

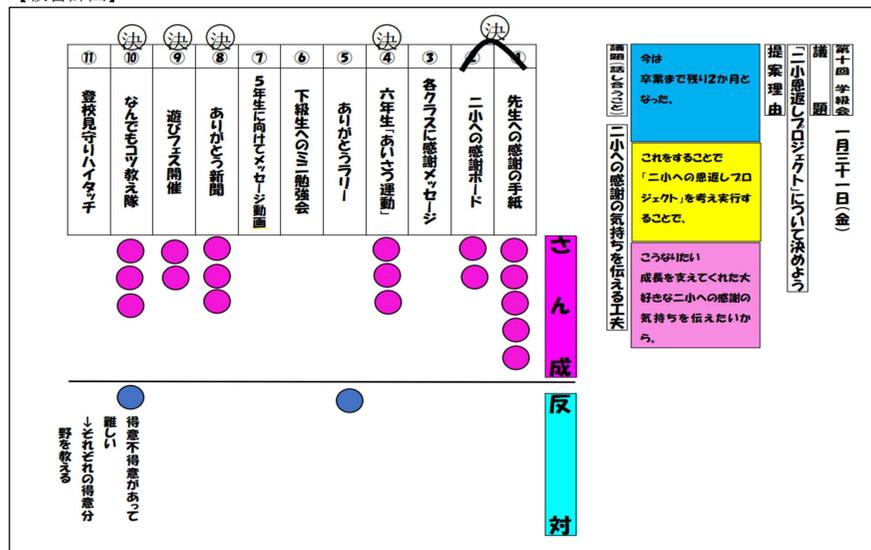
<本時のねらい>

- 提案理由を意識しながら、二小への感謝の気持ちを伝える方法を考える。
- 自分たちで話し合いを進め、友達のを認め生かしながら、クラス全体で意見をまとめていく。

	<p>主な学習活動【4つの視点】</p> <p>主な発問:T 予想される児童の反応:C</p>	<p>○研究主題にせまる6つの手立て</p> <p>□…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p>
導入	<p>1. 司会台本に沿って、話し合いを始める。【発見】</p> <p>(1) はじめの言葉</p> <p>(2) 司会グループの紹介</p> <p>(3) 議題・提案理由・決まっていることの確認</p> <p>【議題】 「二小恩返しプロジェクト」について決めよう。</p> <p>【提案理由】 卒業まで残り2か月となった。「二小への恩返しプロジェクト」を行うことで、成長を支えてくれた大好きな二小への感謝の気持ちを伝えたいから。</p> <p>【決まっていること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月19日(木)までに実行できること。 準備は休み時間に行う。 決まった内容は、卒業前奉仕活動実行委員が各クラスから持ち寄り、クラスごとにやることを確認する。 	<p>□学級会の形(コ)にして話し合う。</p> <p>※場の構造化</p> <p>□事前に「司会グループ」と話し合いの流れを確認しておく。※時間の構造化</p> <p>□事前に学級で取ったアンケートから、司会グループと一緒に意見の集約を行い、短冊に分類・整理してまとめておく。</p> <p>※視覚化 ※焦点化</p> <p>○話題設定の工夫</p> <p>卒業が近づき、大好きな二小で過ごす時間が少なくなってきた。そこで、6年生の「卒業前奉仕活動実行委員」の活動とからめ、今まで成長させてくれた二小に対して「恩返しとしてできることはないか。」を話し合せて決めることで、全員が意欲的に考えられるようにする。</p> <p>※焦点化※共有化</p>
展開	<p>2. 出された意見を比べ合う。【対話】【表現】</p> <p>(1) 出された意見の確認と質疑応答をする。</p> <p>(2) 賛成・反対の意見を出し合い、意見を比べ合う。</p> <p>話し合うこと「二小恩返しプロジェクト」で何をするか</p> <p>C: お世話になった先生に感謝の手紙を書く。</p> <p>C: 6年生全員で「二小への感謝ボード」を作る。</p> <p>C: 下級生に向け「学校生活アドバイスの手引き」を作成する。</p> <p>C: 各クラスに、感謝のメッセージを書いて渡す。</p> <p>C: 「あいさつ運動」をし、あいさつを呼びかける。</p> <p>C: 休み時間に「ありがとう」を各クラスに伝える。</p> <p>C: 休み時間に下級生へのミニ勉強会を開く。</p> <p>C: 5年生に向けてメッセージ動画を作る。</p>	<p>□子供たちが思考する手助けになるように話し合いの流れが一目で分かるような板書を心がける。※視覚化</p> <p>□提案理由を基に理由を付けて発表するように助言する。※共有化</p> <p>□以下のようなときは助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活指導上、人権上問題のあるとき 自治的範囲を超えたとき ねらいから大きくそれたとき 話し合いが混乱したとき 規律が乱れたとき 児童の伝え方が不十分なとき <p>□少数意見も大切に、折り合いをつけて合意形成するようにさせ、人間関係を築く力を高める。※クラス内の理解促進</p> <p>□決まらなかった意見は、ありがとうゾーンへ移動させ、それぞれの意見を尊重する。※クラス内の理解促進</p>
	<p>3. 比べ合った意見をもとにまとめ、決定する。</p> <p>【対話】【決定】</p>	
	<p>4. ノート記録が、決まったことを発表する。</p>	

<p>5. 話し合いを振り返る。【対話】</p> <p>(1) 今日のよかった人を発表する。</p> <p>(2) 教師の助言を聞き、自分たちの頑張りや課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 司会グループの取り組みについて 前回の学級会と比べて良かったこと 提案理由を大切にしながら話し合ったこと 今後の見通しや実践に向けての意欲付け 次回の学級会に向けての課題 	<p>□教人に発表させる。※クラス内の理解促進</p> <p>☆二小への感謝の気持ちを伝える具体的な方法を考えている。(発言・振り返りカード)</p> <p>□終末の助言では、個人名を挙げたり、問い掛けたりしながら以下の内容を具体的に伝える。※クラス内の理解促進</p> <p>□児童に問いかけながら、前回の学級会と比べて成長したところや次回の学級会に向けての課題を伝える。※適用化</p>
--	---

【板書計画】



【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

児童から募って決定した「クラスで話し合いしたい議題リスト」から議題を選出し、なぜこの議題で話し合うのか、3つの視点(今・過程・結果)をもとに司会グループと担任で提案理由を練り上げる。学級全体で話し合う必要性をもたせ、話し合いの意欲をより高める。今回は、6年生の「卒業前奉仕活動実行委員」の活動と関連させて、今まで成長を支えてくれた大好きな二小に対して感謝を伝える方法を考えたいということを提案理由として、『「二小恩返しプロジェクト」について決めよう。』という議題を設定した。

(2) 「学び合う」ための手立て

意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定

学級会中に意見が出なくなってしまう場合、「コ」の字の形のまま、近くの3、4人の小集団で話せる環境にする。そうすることで、どの児童も次の発言に向けての自信につながられるようにする。小グループは、普段から関わることの多い生活班を基準につくことで、より意見を伝えやすくする。